

Scope 3 への取り組み

伊藤忠食品グループは、企業理念である「健康で豊かな食生活創りを通じた消費者と社会への貢献」に基づき、本業を通じたサステナビリティ活動を行っています。

持続可能な社会の実現に向けて、当社の事業活動に関わる CO₂排出量（Scope1、2）に加え、サプライチェーン全体の CO₂ 排出量（Scope3）を測定しています。

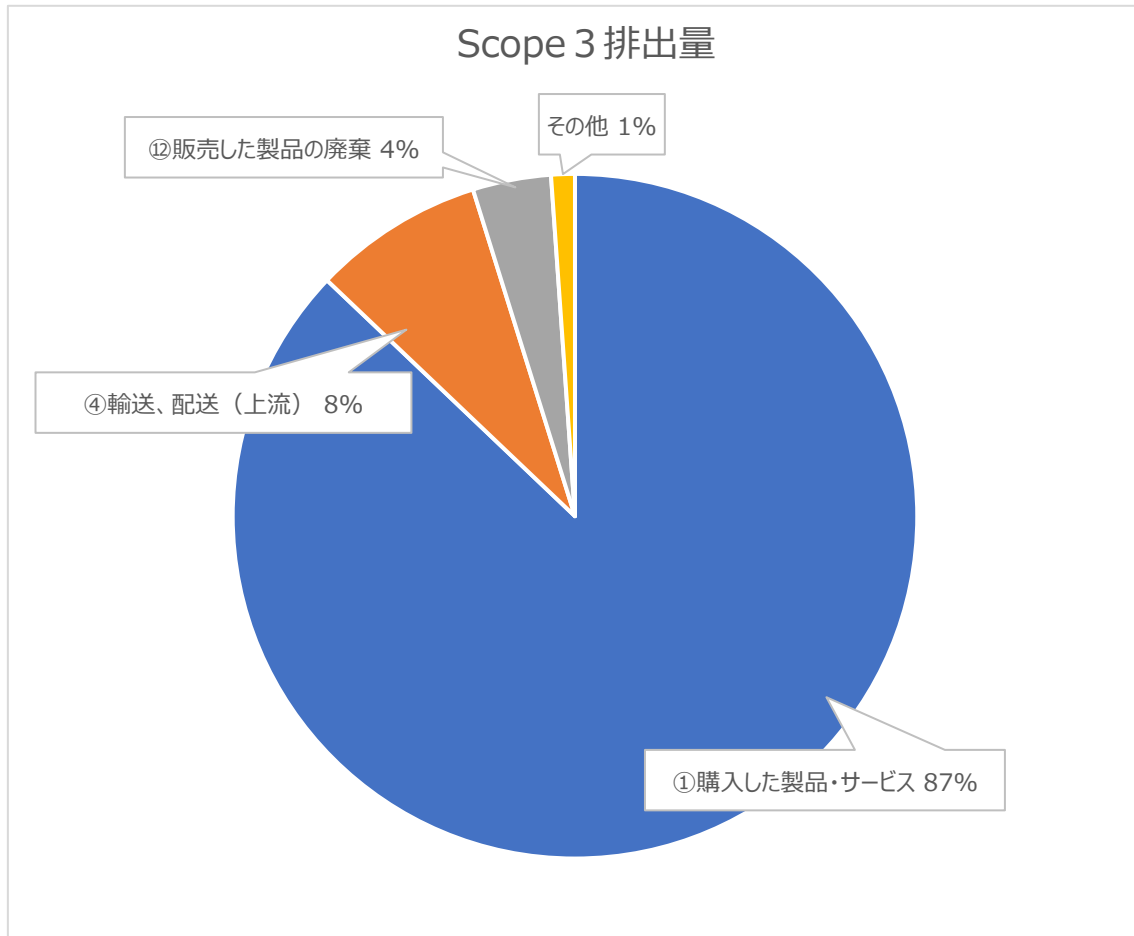
Scope3 排出量

・各カテゴリにおける CO₂排出量の測定結果

単位：t-CO₂

排出量内訳			24 年度	25 年度	構成比
Scope1			1,022	1,071	0.0%
Scope2			7,425	7,301	0.2%
小計 Scope1+2			8,447	8,372	0.3%
Scope3			2,887,231	3,016,206	99.7%
<Scope3 の内訳>（Scope3 に占める割合）					
	カテゴリ 1	購入した製品・サービス	2,515,055	2,634,462	87.3%
	カテゴリ 2	資本財	2,312	10,978	0.4%
	カテゴリ 3	燃料及びエネルギー関連活動	1,355	1,355	0.0%
	カテゴリ 4	輸送、配送（上流）	241,187	244,336	8.1%
	カテゴリ 5	事業から出る廃棄物	388	401	0.0%
	カテゴリ 6	出張	156	158	0.0%
	カテゴリ 7	雇用者の通勤	533	542	0.0%
	カテゴリ 8	リース資産（上流）	0	0	0.0%
	カテゴリ 9	輸送、配送（下流）	11,843	11,018	0.4%
	カテゴリ 10	販売した製品の加工	0	0	0.0%
	カテゴリ 11	販売した製品の使用	0	0	0.0%
	カテゴリ 12	販売した製品の廃棄	113,314	111,865	3.7%
	カテゴリ 13	リース資産（下流）	813	815	0.0%
	カテゴリ 14	フランチャイズ	275	275	0.0%
	カテゴリ 15	投資	0	0	0.0%
合計 Scope1+2+3			2,895,678	3,024,578	100.0%

・Scope 3 排出量構成比 (%)



当社は、多くの取引先から商品調達を行っています。そのため、当社の CO₂排出量は、自社の事業活動に伴う Scope1・2 だけでなく、商品調達や物流、販売した製品の廃棄など、サプライチェーン全体における排出量の影響を大きく受けています。

2025 年度の Scope1・2・3 排出量のうち、Scope3 が 99.7%を占めており、Scope3 の中では、「カテゴリ 1（購入した製品・サービス）」が 87%、「カテゴリ 4（輸送、配送（上流））」が 8%、「カテゴリ 12（販売した製品の廃棄）」が 4%を占めています。これら 3 つのカテゴリで Scope3 排出量の大部分を占める結果となりました。

こうした事業特性を踏まえ、今後も Scope3 排出量の把握・分析を継続し、サプライチェーン全体における環境負荷を把握するとともに、事業活動が環境に与える影響を適切に捉えていきます。